

さいたま市議会議員

阪本 かつみ



市議会レポート 2020.2月号

【編集・発行】 民主改革さいたま市議団 阪本 かつみ

2月定例会は2月4日に開会しました！

さいたま市議会2月定例会の会期は2月4日から3月19日までの45日間です。今定例会に市長より提出された議案は、台風19号により被害を受けたスポーツ施設や都市公園の復旧に向けた補正予算を含む予算議案34件、条例議案25件、サーマルエネルギーセンターや中央消防署等の建設請負契約などの一般議案6件、道路議案2件、人権擁護委員や農業委員会委員など人事議案27件、合計94件です。

今議会で私は会派を代表しての代表質問に臨むほか、市の基本的な計画である総合振興計画の審査にあたらせていただきます。

少子高齢化の進展や将来の人口減少、公共施設の老朽化も進んでまいります。また、社会保障関連経費等の増大により厳しさを増す財政状況の中、市民の視点に立った予算編成が行われたのかなど、きびしく審査に臨んでまいります。



さいたま市議会議員 阪本かつみ

- ・ 議会運営委員会 代表理事
- ・ 総合政策常任委員会 委員
- ・ 令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会 委員長
- ・ 市庁舎及び行政区あり方検討特別委員会 副委員長
- ・ 地下鉄7号線延伸事業特別委員会 委員
- ・ 市の基本的計画のあり方検討特別委員会 委員

令和元年度 補正予算の概要

- 1. 令和元年台風第19号被害への対応**
 - 台風19号により被害を受けた市民利用スポーツ施設（リトル・シニアリーググラウンド、東京健保組合運動場、ボーイズリーググラウンド、レッズランド）4か所の復旧に向け、堆積土砂の撤去・処分を実施
 - 台風19号により被害を受けた都市公園（宝来運動公園、西遊馬公園、荒川総合運動公園、荒川彩湖公園、桜草公園）5か所の復旧に向け、公園施設の修繕及び工事を実施
- 2. 国庫補助金を活用し、小中学校のトイレの改修工事を実施**
 - 小学校7校（浦和別所小、神田、中島、指扇北、東宮下、泰平、和土、東岩槻小学校）
 - 中学校4校（大原、田島、大宮北、第二東、桜山中学校）
- 3. 都市基盤・交通の強化**
 - 老朽化した浦和駒場スタジアムの改修、修繕工事を実施
 - 快適な道路環境を維持するため、道路修繕工事を実施

阪本かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 1F TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023
E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp



阪本かつみオフィシャル web サイト <http://sakamoto-katsumi.net>

令和2年度 当初予算案の概要

【予算規模】

一般会計	5,627億円	前年度比	59億円	1.1%増
特別会計	3,167億円	前年度比	49億円	1.6%増
企業会計	1,264億円	前年度比	▲116億円	8.4%減
全会計	1兆58億円	前年度比	▲8億円	0.1%減

【主な新規・拡大事業】

○東京2020体系開催を好機として更なる成長・・・・・・・・・・689,000,000円

～本市の取組や魅力を国内外に発信～

東京2020大会では、サッカーとバスケットボールが本市で開催されるため、会場周辺や主要駅に大会の祝祭感を演出するとともに、暑さ対策などを実施します。
さらに、観戦客等を対象としたプロモーションやイベントを実施します。

○真に災害に強いまちを目指して・・・・・・・・・・4,225,913,000円

～防災・減災対策の強化～

激甚化する自然災害から市民の生命と財産を守るため、油面川排水機場の整備計画を前倒しするほか、災害時防災情報電話サービスを開始するなど、更なる防災・減災の取組を行います。

○持続可能な成長・発展に向けて・・・・・・・・・・348,426,000円

～「スマートシティ」の取組の加速化～

Society5.0の時代に対応し、美園地域を中心とした「スマートシティさいたまモデル」の構築に向けた取組を推進するほか、新技術を活用し、交通手段の最適化を図る「MaaS」など、新たなモビリティサービスの導入に向けた検討を行います。

○出産後間もない時期の産婦等に対する支援を強化・・・・・・・・・・48,734,000円

～宿泊型・デイサービス型の産後ケア事業の創設～

既存の訪問型に加え、新たに宿泊型・デイサービス(日帰り)型産後ケア事業を開始します。

○放課後児童クラブにおける待機児童の解消に向けて・・・・・・・・・・3,337,509,000円

～児童の受入規模の拡大・支援員の処遇改善～

児童の受入規模を拡大するとともに、人材の確保及び質の向上を図るため、民設放課後児童クラブの支援員の処遇改善を実施します。

○持続可能な「スポーツのまち さいたま」の実現・・・・・・・・・・26,876,000円

～スポーツシューレ事業の推進～

民間力を最大限に活用したネットワーク型のスポーツシューレ事業として、新たにアーバンスポーツ活性化事業を実施します。

○Society5.0時代を生きる子どもたちの学びのために・・・・・・・・・・303,055,000円

～ICTを活用したアクティブ・ラーニング推進～

中学校21校及び小学校35校にタブレット型コンピューター等を整備します。

○安全で楽しく遊べる公園づくり・・・・・・・・・・194,086,000円

～公園遊具の安全性の向上～

公園遊具について安全性を図る修繕や更新等の対策を実施します。